



「JTCO ニュースレター」～活動内容のお知らせ～

vol.49 2024年10月11日発行 発行 NPO 法人 日本伝統文化振興機構
東京都港区愛宕1-3-2

平素は、NPO 法人日本伝統文化振興機構(JTCO)の活動にご理解とご支援を賜り、御礼申し上げます。 コンテンツ調査で見えてきた伝統工芸品業界の今

この度 JTCO では当機構サイトに掲載のリンク先などのコンテンツの調査を行いました。すると残念ながら閉業されてしまった会社様や解散された組合様などが散見されました。群馬のふるさと工芸品の上越クリスタルは確かな技術で都内有名ホテルの光壁や有名寺院のガラス工芸品復元を手がけ、ガラス製品の製造卸をしていましたが、体験工房などを備えたパークはコロナ禍の影響を受け減収、事業継続を断念しました。広島伝統的工芸品に指定されている三次人形の窯元は後継者のいないまま亡くなられてしまいました。光人形とも呼ばれ独特の美しい光沢の人形の継承はできていません。福井の越前竹人形の里は閉館し、「午前中はパンを作り、午後は竹人形づくりに励む仕事の形もある」と職人の新しい働き方についても展望を描き、バーカリーショップをオープンしました。様々な状況の中、今後の伝統工芸・文化の伝承の為一計を講じる必要性を感じました。これからも JTCO は国内外に向け、より多くの情報を発信していきたいと思っております。

伝統工芸品館 更新情報

JTCO サイトに新たな記事を公開しました！

▼ 東京無地染 <東京都>

[国指定伝統的工芸品(経済産業大臣指定)]

提供:東京都染色工業協同組合 様



東京無地染は、江戸時代中後期の染物屋の職人たちにより使用された江戸紫・藍・紅花・江戸茶等の無地染を起源として発展しました。重ね染めにより色合わせすることが特徴です。

詳しい記事はこちら→<https://00m.in/gJkBx>

遊ぶもよし飾るもよし！美しい有田焼の「工芸ルービックキューブ」

日本の伝統工芸とルービックキューブを掛け合わせた「工芸ルービックキューブ」のシリーズ最新作がメガハウス社から発売されます。これまでメガハウス社では九谷焼や高岡銅器、金沢箔とのコラボレーション商品を展開してきており、今回匠第4弾として、「工芸ルービックキューブ 有田焼 結晶釉」の受注を開始しました。価格は25万円と高額ですが、伝統技術を持つ職人が手作業で製作するため大量生産はできずシリアルナンバーが振られ、アートとして飾れるように専用台座もついています。美しい青白磁で知られる有田焼の窯元の藤巻製陶が開発に参加し、「結晶釉」という独自の釉薬によりガラス質が厚く透明感のある爽やかで柔らかなパステルカラーのタイルが装着されたルービックキューブは見る目を楽しませてくれます。『時代を超えて受け継がれるべきものに触れ、人が本来持ち備えている感性を呼び覚ます』をコンセプトに、日本の伝統工芸の技術を詰め込み、日本の感性や文化が発信されています。現在、麻生十番でルービックキューブのイベントが11月15日まで開催されており、そこでこちらの工芸ルービックキューブも展示されているとのことなので鑑賞されてみてはいかがでしょうか。

▶イベント詳細はこちら→ <https://00m.in/NrWsN>

▶有田焼の記事はこちら→ <https://00m.in/TiLHw>

≪第9回 烏城紬作品展のご案内！≫

3年に一度の烏城紬作品展が岡山後楽園で開催されます。

岡山県指定の郷土伝統的工芸品の烏城紬は、しなやかで光沢のある美しい絹織物です。機織り機での体験や烏城紬での織地を使用して小物を作成するワークショップなども開催されているそうです。ぜひこの機会に、後楽園をお散歩しながら縞模様の美しい烏城紬をご覧ください。はいかがでしょうか。

開催期間:2024年10月26日(土)~29日(火)

開館時間:午前10時~午後4時(最終日は午後1時まで)

※後楽園の閉園日は閉館いたします。

詳細はこちら→ <https://00m.in/ZGGRo>



▼ 江戸更紗 <東京都>

[東京都指定伝統工芸品]

提供:東京都染色工業協同組合 様



江戸更紗の発祥は、江戸時代中期から末期にかけてといわれています。神田川をはじめとする東京の水は硬水です。このため水中に含まれている鉄分が、染め上げるまでに化学反応をおこし、色が渋いものとなります。

こうして江戸更紗独特の渋味が生まれ、「侘」落ちついた味わい「寂」枯れた渋味の入った色が完成するのです。

詳しい記事はこちら→<https://00m.in/rHsyk>

情報発信・工芸品の販売・JTCO 会員入会・その他記載内容についてのお問い合わせ先(事務局・広島)

MAIL:info@jtco.or.jp TEL:082-230-0243 FAX:082-230-0263(発行責任者:及川 秀悟)